

「石川県重症心身障害児（者）を守る会」 結成される！

1996年7月27日

7月27日重症児（者）の親達にとっては念願だった重症心身障害児（者）を守る会が石川県でも結成されました。全国の守る会は“最も弱いものを一人ももれなく守る”という基本精神のもとに1964年に重い障害児をもつ親たちがその趣旨に賛同する人々と手を取り合って結成しました。すでに30周年を迎えており、この間、重症児施設の発足や国療の重症児病棟設置など様々な運動に取り組んできており、支部も各県に結成されています。石川県でもここ数年「重症児の高等部をつくる親の会」の役員の方々を中心に守る会支部の結成に向けての下準備がされてきました。「全国守る会」の会員も10数名になり、学習会にも多数参加されるなど関心も高まってきたところで今回の「石川県重症心身障害児（者）を守る会」の発足となりました。当日は重症児とその親、教師、医療関係者、他団体の方々などが集まって結成大会が開かれました。

会則や今後の活動についても話し合われ、役員も選出されました。これからは役員を中心にして重症児を取り巻く輪を広げ、子ども達の幸せのために活動していくことを確認しました。



石川県重症心身障害児（者）を守る会結成にあたって

会長 益子佳苗

この度、石川県にも重症心身障害児（者）をもつ親の連絡と助け合いの組織「石川県重症心身障害児（者）を守る会」を発足することができ、活動することになりました。石川県には施設入所者、約200人 在宅者、約160人がおられるとのことです。しかし、その現状や悩みを話し合い、相談する会が本県にはなかったのでございます。他県には全国重症心身障害児（者）を守る会の県支部があり、支部のないのは全国で6～7であります。数年後にはこの会も県支部になるよう努力していくつもりであります。会員への情報提供（デイケア、介護、医療、他）各グループ活動の支援（ボランティア、施設の紹介）、後には自治体の委託を受けた福祉活動など多くの事業が出来ればと思っております。

日々、子どもは成長し、親は年をとってまいります。自分の子どもだけでなく、石川県を全ての重症心身障害児（者）、ひいては親が安心できる県にしていくためにも、今後、会員を増やし、ご指導、ご支援、ご協力をいただき、皆様のお役に立つ全国レベルにおいつく組織にしてゆきたいと思っております。



お祝いのことば



国立療養所医王病院院長

石川克巳

石川県重症心身障害児（者）を守る会設立おめでとうございます。

石川県には障害児関係の大きな親の会としては育成会（手をつなぐ親の会）と肢体不自由父母の会がありましたが、重い障害を持つ子供や成人にはどこか取り残されている観が否めませんでした。私自身、重症心身障害児医療に、27年前に関わるようになって、私の尊敬する重症心身障害児の父とも呼ばれる小児科医の先輩故小林提樹先生と北浦会長等が中心になって作られた全国重症心身障害児（者）を守る会に石川県も早く参加するようになればと願っておりました。1993年（平成5年）6月に第30回重症心身障害児（者）を守る全国大会が静岡市で開かれたとき初めて参加して以来、この思いは益々強くなりました。

この度、その第一段階として本会が設立されたことは石川県の重症児にとって、幸せをもたらすものとして朗報であります。私の数十年に渉る祈りが聴かれたという思いでいっぱいです。特に在宅で重い障害児（者）を抱えておられるご家族の幸せに援助できるようにと祈っています。

幸い重症児の親である益子会長はじめ、山本、越坂副会長の陣容の下に全国重症心身障害児（者）を守る会石川県支部設立準備会もかねて、力強く発足し、すでに第1回理事会を開き、歩みだしております。

近い将来、全国重症心身障害児（者）を守る会石川県支部として全国の方々と歩みを共にする会へと成長するようにと願っております。

本会設立を心からお祝い申し上げます。



石川県重症心身障害児（者）を守る会役員名簿

役 職	氏 名	住 所	電 話
会 長	益子 佳苗	金沢市三馬 2-174	0762-41-8212
副会長	山本 衛 越坂 由紀子	能美郡根上町中町ツ 88-1 河北郡津幡町字庄ト 108-3	0761-55-1814 0762-89-2990
理 事	石川 克巳 西田 淳子 新保 修三郎	金沢市木越 3-90 金沢市東兼六町 7-10 金沢市増泉 1-35-16	0762-58-5645 0762-21-0560 0762-42-5235
会 計	越坂 由紀子	河北郡津幡町字庄ト 108-3	0762-89-2990
監 事	山村 多恵子	羽咋郡志賀町字釈迦堂ケ 16	0767-38-1039

7/28 北陸中日新聞

障害児の成長を支援

県守る会発足 会長に益子さん

石川県重症心身障害児 児童らを持つ父母ら約二十
（者）を守る会の結成大会
は二十七日、金沢市の国立
医王病院内で開かれ、障害
児の成長を支援に向け
てネットワークづくりを進
めることを申し合わせた。

石川県重症心身障害児
（者）を守る会は、重症心
身障害者の全国組織である
「全国重症心身障害児
（者）を守る会」の県支部
を設立するための活動母体
として設けられた。在宅の
重症心身障害者の現状を調
査し、その保護者同士が連
絡を取り、協力しあうこと
を活動の主眼としている。
役員に選ばれたのは次の
▽会長 益子佳苗▽副会長
山本衛、越坂由紀子▽理事
石川克巳、西田淳子、新保
修三郎▽会計 越坂由紀子▽
監事 山村多恵子



重症心身障害児の 親が「守る会」を結成

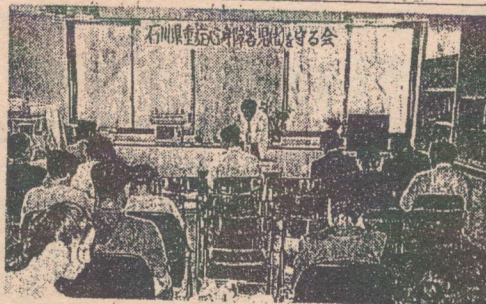
重度の身体障害と知的障害をあわせもった子どもたちの親が手をつなぐ「県重症心身障害児(者)を守る会」の結成大会が二十七日、金沢市岩出町の国立療養所医王病院で開かれ、会員二十人で発足した。会長に選ばれた金沢市三馬、絵画教師益子佳苗さんは、「県内の施設などが充実するよう努力したい」とあいさつした。



7/28 読売新聞

重症心身障害児らに 県民の理解と協力を 『守る会』が発足

重度の知的障害や肢体不自由を持つ人の生活環境を改善する「石川県重症心身障害児(者)を守る会」の結成大会が二十七日、金沢市岩出町の国立医王病院で開かれ、二十人の会員が発足した。



会員20人で発足した「県重症心身障害児(者)を守る会」の結成大会。金沢市の国立医王病院で開かれた。

組織への移行も目指す。大会では、会則を決めた後、会長に益子佳苗さん(金沢市)を選んだ。あいさつに立った益子会長は、「自分だけでなく、他人の思いをくみ取り、協力し合いたい」と述べ、全国的に先例のない、重症心身障害児(者)の保護と福祉の向上を図ることを目的に、会員は重症心身障害児者の両親・家族を中心に、教育や医療関係者二十人で構成。事業は▽会員への情報提供▽グループ活動の支援▽県や自治体の委託を受けた福祉事業などの運営など。会員を増やして支店組織への移行も目指す。

大会では、会則を決めた後、会長に益子佳苗さん(金沢市)を選んだ。あいさつに立った益子会長は、「自分だけでなく、他人の思いをくみ取り、協力し合いたい」と述べ、全国的に先例のない、重症心身障害児(者)の保護と福祉の向上を図ることを目的に、会員は重症心身障害児者の両親・家族を中心に、教育や医療関係者二十人で構成。事業は▽会員への情報提供▽グループ活動の支援▽県や自治体の委託を受けた福祉事業などの運営など。会員を増やして支店組織への移行も目指す。

関係者によると、重症心身障害児(者)は全国の国立療養所八十カ所と法人・公立の民間施設七十九カ所で計約一万五千人が入所しているとされている。在宅を含め、三万人前後いると推計され、県内には在宅百八人、入所者二百人いるという。受け入れ施設が少ないなど対策が急がれている。問い合わせは同会副会長の越後由紀子さんへ。電話0762(89)26900。

重症心身障害児(者)の両親・家族を中心に、教育や医療関係者二十人で構成。事業は▽会員への情報提供▽グループ活動の支援▽県や自治体の委託を受けた福祉事業などの運営など。会員を増やして支店組織への移行も目指す。

関係者によると、重症心身障害児(者)は全国の国立療養所八十カ所と法人・公立の民間施設七十九カ所で計約一万五千人が入所しているとされている。在宅を含め、三万人前後いると推計され、県内には在宅百八人、入所者二百人いるという。受け入れ施設が少ないなど対策が急がれている。問い合わせは同会副会長の越後由紀子さんへ。電話0762(89)26900。